

第 16 回ビジネス会計検定試験より抜粋

(平成 27 年 3 月 8 日施行)

次の<資料 1>から<資料 5>により、【問 1】から【問 1 1】の設問に答えなさい。
分析にあたって、連結貸借対照表数値、従業員数、発行済株式数および株価は期末の数値を用いることとし、純資産を自己資本とみなす。△はマイナスを意味する。

<資料 1> 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	A 社	B 社
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,900	10,800
受取手形及び売掛金	11,620	12,200
有価証券	2,700	4,250
棚卸資産	4,380	5,200
繰延税金資産	1,050	380
その他	1,250	720
流動資産合計	37,900	33,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,650	11,050
機械装置及び運搬具	10,030	5,650
土地	12,250	7,150
建設仮勘定	370	550
有形固定資産合計	31,300	24,400
無形固定資産	980	530
投資その他の資産		
投資有価証券	29,650	3,850
長期貸付金	2,750	100
繰延税金資産	800	450
投資その他の資産合計	33,200	4,400
固定資産合計	65,480	29,330
資産合計	103,380	62,880

	A社	B社
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,230	5,500
短期借入金	450	80
未払金	5,020	4,300
未払法人税等	1,730	1,150
その他	4,300	700
流動負債合計	22,730	11,730
固定負債		
長期借入金	3,230	0
繰延税金負債	2,160	220
退職給付引当金	2,380	3,900
その他	1,250	350
固定負債合計	9,020	4,470
負債合計	31,750	16,200
純資産の部		
株主資本	74,650	49,100
その他の包括利益累計額	△4,600	△3,630
新株予約権	180	0
少数株主持分	1,400	1,210
純資産合計	71,630	46,680
負債純資産合計	103,380	62,880

<資料2> 連結損益計算書

(単位：百万円)

	A社	B社
売上高	95,180	80,250
売上原価	53,420	50,650
売上総利益	41,760	29,600
販売費及び一般管理費	35,120	22,970
営業利益	6,640	6,630
営業外収益		
受取利息	230	50
受取配当金	440	70
持分法による投資利益	290	10
その他	110	50
営業外収益合計	1,070	180
営業外費用		
支払利息	50	10
為替差損	550	20
その他	90	40
営業外費用合計	690	70
経常利益	7,020	6,740
特別利益		
投資有価証券売却益	50	0
その他	1,450	20
特別利益合計	1,500	20
特別損失		
固定資産売却損	330	90
投資有価証券評価損	10	40
減損損失	50	20
その他	230	10
特別損失合計	620	160
税金等調整前当期純利益	7,900	6,600
法人税、住民税及び事業税	2,500	2,470
法人税等調整額	720	△30
法人税等合計	3,220	2,440
少数株主損益調整前当期純利益	4,680	4,160
少数株主利益	50	130
当期純利益	4,630	4,030

<資料3> 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	A社	B社
(ア)	()	()
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	180
為替換算調整勘定	△1,050	△150
その他の包括利益合計	△50	30
包括利益	()	()

<資料4> 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	A社	B社
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,150	4,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,200	△7,770
(うち有形固定資産の取得による支出)	(△4,800)	(△2,860)
(うち有形固定資産の売却による収入)	(380)	(10)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,360	△1,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	△90
現金及び現金同等物の増減額	2,450	△4,150
現金及び現金同等物の期首残高	15,490	13,990
現金及び現金同等物の期末残高	17,940	9,840

<資料5> その他のデータ

	A社	B社
従業員数 (人)	1,880	990
発行済株式数 (百万株)	29	28
株価 (円)	3,100	2,250
配当総額 (百万円)	2,060	1,020

【問1】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) <資料3>の空欄(ア)にあてはまるのは、「税金等調整前当期純利益」である。
(イ) 包括利益は、A社の方が大きい。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問2】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) フリー・キャッシュ・フローは、A社の方が大きい。
(イ) 両社とも、営業キャッシュ・フローの範囲内で設備投資を行っている。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問3】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 固定比率からみた長期の安全性は、A社の方が高い。
(イ) 負債比率からみた長期の安全性は、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問4】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 手元流動性比率は、A社の方が高い。
(イ) 正味運転資本は、A社の方が大きい。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問5】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 総資本回転率からみると、A社の方が資本効率は良好である。
(イ) 総資本事業利益率は、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問6】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 売上高当期純利益率からみると、A社の方が収益性が高い。
(イ) 財務レバレッジは、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問7】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 時価総額は、A社の方が高い。
(イ) 配当利回りは、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問8】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) B P Sは、A社の方が大きい。
(イ) P B Rは、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問9】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) P E Rは、A社の方が高い。
(イ) 株式益回りは、A社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問 1 0】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 従業員 1 人当たり売上高は、A 社の方が大きい。
(イ) 資本集約率は、A 社の方が高い。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

【問 1 1】 次の文章について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(ア) 棚卸資産の在庫期間は、A 社の方が長い。
(イ) 売上債権の管理は、A 社の方が効率的に行われている。

- ① (ア) 正 (イ) 正
- ② (ア) 正 (イ) 誤
- ③ (ア) 誤 (イ) 正
- ④ (ア) 誤 (イ) 誤

《解答・解説》

【問1】 ③

＜資料3＞ (空欄部分のみ)

	A社	B社
(ア) 少数株主損益調整前当期純利益)	(4,680)	(4,160)
包括利益	(4,630)	(4,190)

【問2】 ①

(ア) フリー・キャッシュ・フロー

$$A社: 4,950 = \text{営業活動によるキャッシュ・フロー} 8,150 \\ + \text{投資活動によるキャッシュ・フロー} \Delta 3,200$$

$$B社: \Delta 2,890 = \text{営業活動によるキャッシュ・フロー} 4,880 \\ + \text{投資活動によるキャッシュ・フロー} \Delta 7,770$$

(イ) 設備投資額対キャッシュ・フロー比率

$$A社: 54.2(\%) = \frac{\text{設備投資額 } 4,420^*}{\text{営業活動によるキャッシュ・フロー } 8,150} \times 100$$

※4,420 = 有形固定資産の取得による支出 4,800 - 有形固定資産の売却による収入 380

$$B社: 58.4(\%) = \frac{\text{設備投資額 } 2,850^*}{\text{営業活動によるキャッシュ・フロー } 4,880} \times 100$$

※2,850 = 有形固定資産の取得による支出 2,860 - 有形固定資産の売却による収入 10

【問3】 ④

$$(ア) \text{ 固定比率 } A社: 91.4(\%) = \frac{\text{固定資産 } 65,480}{\text{純資産 } 71,630} \times 100$$

$$B社: 62.8(\%) = \frac{\text{固定資産 } 29,330}{\text{純資産 } 46,680} \times 100$$

$$(イ) \text{ 負債比率 } A社: 44.3(\%) = \frac{\text{負債 } 31,750}{\text{純資産 } 71,630} \times 100$$

$$B社: 34.7(\%) = \frac{\text{負債 } 16,200}{\text{純資産 } 46,680} \times 100$$

【問4】 ②

(ア) 手元流動性比率

$$A社: 2.47(\text{月}) = \frac{\text{現金及び預金 } 16,900 + \text{有価証券 } 2,700}{\frac{\text{売上高 } 95,180}{12}}$$

$$B社: 2.25(\text{月}) = \frac{\text{現金及び預金 } 10,800 + \text{有価証券 } 4,250}{\frac{\text{売上高 } 80,250}{12}}$$

(イ) 正味運転資本

A社：15,170＝流動資産 37,900－流動負債 22,730

B社：21,820＝流動資産 33,550－流動負債 11,730

【問5】 ④

(ア) 総資本回転率

$$A社：0.92(回) = \frac{\text{売上高 } 95,180}{\text{総資本 } 103,380} \quad B社：1.28(回) = \frac{\text{売上高 } 80,250}{\text{総資本 } 62,880}$$

(イ) 総資本事業利益率

$$A社：7.4(\%) = \frac{\text{事業利益 } 7,600※}{\text{総資本 } 103,380} \times 100$$

※事業利益 7,600＝営業利益 6,640＋受取利息 230＋受取配当金 440
＋持分法による投資利益 290

$$B社：10.8(\%) = \frac{\text{事業利益 } 6,760}{\text{総資本 } 62,880} \times 100$$

※事業利益 6,760＝営業利益 6,630＋受取利息 50＋受取配当金 70
＋持分法による投資利益 10

【問6】 ③

(ア) 売上高当期純利益率

$$A社：4.9(\%) = \frac{\text{当期純利益 } 4,630}{\text{売上高 } 95,180} \times 100 \quad B社：5.0(\%) = \frac{\text{当期純利益 } 4,030}{\text{売上高 } 80,250} \times 100$$

(イ) 財務レバレッジ

$$A社：144.3(\%) = \frac{\text{総資本 } 103,380}{\text{純資産 } 71,630} \times 100 \quad B社：134.7(\%) = \frac{\text{総資本 } 62,880}{\text{純資産 } 46,680} \times 100$$

【問7】 ①

(ア) 時価総額 A社：89,900(百万円)＝3,100(円)×29(百万株)

B社：63,000(百万円)＝2,250(円)×28(百万株)

(イ) 配当利回り

$$A社：2.3(\%) = \frac{\text{配当総額 } 2,060}{\text{発行済株式数 } 29 \times \text{株価 } 3,100} \quad B社：1.6(\%) = \frac{\text{配当総額 } 1,020}{\text{発行済株式数 } 28 \times \text{株価 } 2,250}$$

【問8】 ②

(ア) BPS A社：2,470(円)＝ $\frac{\text{純資産 } 71,630}{\text{発行済株式数 } 29}$ B社：1,667.1(円)＝ $\frac{\text{純資産 } 46,680}{\text{発行済株式数 } 28}$

(イ) PBR A社：1.26(倍)＝ $\frac{\text{株価 } 3,100}{\text{BPS } 2,470}$ B社：1.35(倍)＝ $\frac{\text{株価 } 2,250}{\text{BPS } 1,667.1}$

【問9】 ②

(ア) P E R

$$A社 : 19.4(\text{倍}) = \frac{\text{株価 } 3,100}{\frac{\text{当期純利益 } 4,630}{\text{発行済株式数 } 29}}$$

$$B社 : 15.6(\text{倍}) = \frac{\text{株価 } 2,250}{\frac{\text{当期純利益 } 4,030}{\text{発行済株式数 } 28}}$$

(イ) 株式益回り

$$A社 : 5.2(\%) = \frac{\frac{\text{当期純利益 } 4,630}{\text{発行済株式数 } 29}}{\text{株価 } 3,100}$$

$$B社 : 6.4(\%) = \frac{\frac{\text{当期純利益 } 4,030}{\text{発行済株式数 } 28}}{\text{株価 } 2,250}$$

【問10】 ④

(ア) 従業員1人当たり売上高

$$A社 : 50.6(\text{百万円}) = \frac{\text{売上高 } 95,180}{\text{従業員数 } 1,880}$$

$$B社 : 81.1(\text{百万円}) = \frac{\text{売上高 } 80,250}{\text{従業員数 } 990}$$

(イ) 資本集約率

$$A社 : 55.0(\text{百万円}) = \frac{\text{総資産 } 103,380}{\text{従業員数 } 1,880}$$

$$B社 : 63.5(\text{百万円}) = \frac{\text{総資産 } 62,880}{\text{従業員数 } 990}$$

【問11】 ③

(ア) 棚卸資産回転期間

$$A社 : 16.8(\text{日}) = 365 \div \frac{\text{売上高 } 95,180}{\text{棚卸資産 } 4,380}$$

$$B社 : 23.7(\text{日}) = 365 \div \frac{\text{売上高 } 80,250}{\text{棚卸資産 } 5,200}$$

(イ) 売上債権回転率

$$A社 : 8.2(\text{回}) = \frac{\text{売上高 } 95,180}{\text{売上債権 } 11,620}$$

$$B社 : 6.6(\text{回}) = \frac{\text{売上高 } 80,250}{\text{売上債権 } 12,200}$$